



福が満開 おもてなし隊 活動紹介



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

平成27年4月～6月に大型観光キャンペーン「ふくしまグロースティネーションキャンペーン(DC)」が開催されます。福島を訪れた方々を笑顔でおもてなし、DCを盛り上げるために活動する皆さんをご紹介します。

よこまち れん 横町通り連

会津美里町字高田にある「横町門前町通り」を訪れる皆さんに気持ちよく過ごしてもらおうと、平成18年1月に設立された「横町通り連」。現在35人の会員が、心からのおもてなしをしています。



会長(中央) 穴澤 紀明さん
副会長(右下) 永峯 浩三さん



井丸さん手作りの作業道具が並ぶ



お客さまのために手作りの餅を振る舞う(平成26年2月25日 文殊祭にて)

おもてなし活動によって うまれる団結

「家族と一緒に花を植えて通りを飾ったり、みんなで清掃活動をしたり、おもてなしイベントを実施したりしています。活動を始めてから、お客さまへはもちろんですが、草花に対してもやさしい気持ちが生まれました」と副会長の永峯さん。家族や会員同士の団結も強くなったそうです。



木のぬくもりが感じられる作品たち

通りをより魅力的に発信するため アイデアを出し合っておもてなし

活動を始めて町がもっと好きになったという皆さん。「さらに多くの人に訪れていただけるように話し合っ、さまざまなイベントを開催しています。中でも今年4年目を迎えるイルミネーションは好評です。通りの至るところで輝くあたたかな光で、精いっぱいおもてなしします」



イルミネーションは1月15日頃まで。ぜひ、皆さんお越しください。お待ちしております！

あなたも今日から「おもてなし隊」！ 隊員大募集！

福島の良さを伝え、盛り上げたい方なら、どなたでもOK！あなたも「おもてなし缶バッジ」をつけて、お客さまを“おもてなし”しませんか？

対象 県内に所在する団体・グループ・個人など

問 県庁観光交流課 ☎024(521)7398 福が満開おもてなし隊 検索



あなたも誌面に登場してみませんか？

誌面に登場してみたい「おもてなし隊」の方を募集しています。皆さんの心こもったおもてなしと心意気を教えてください。

応募方法 郵便はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・活動内容をご記入の上、下の宛先までご応募ください。採用の方には、後日ご連絡の上、撮影にお伺いさせていただきます。

郵送先 〒960-8670 県庁 広報課「福が満開おもてなし隊」係
お預かりした個人情報は、記事や取材などにのみ使用いたします。



Eメール・ファクスもOK！
16ページをご覧ください。

古殿から発信する 木のぬくもり

「できているものを買うことはもちろん便利です。ですが、グリーンウッドワークの本来の意味である、木に触れ、刃物を正しく使って

ら来たという受講者さんたちの姿も。真剣な表情で椅子や器づくりに取り組んでいました。



真剣に説明に耳を傾ける受講者

手を動かし、自分で物を作るといふ喜びを、ぜひ皆さんにも感じてもらいたいです」
「将来は『グリーンウッドワークをするなら古殿町』と言われるように、広葉樹の森の中に、長期でも短期でもいろんな人が自由に参加できる施設を作りたいと考えています。子どもたちが木工に親しむ元気な姿を見るときとてもうれしいです。木工の技術を子どもたちに伝えて、福島・古殿から世界に羽ばたく！そんな人材を育てていきたいですね」

電動工具に頼らない 木と人との関係



ふくしま はじめ人^{びと}

File No.04

グリーンウッドワーク“クラフトハウス”

いまる とみお
井丸 富夫さん

<プロフィール>

高校時代に木工を専攻。平成16年、イギリスへ渡り、グリーンウッドワークの第一人者マイク・アポット氏に師事。震災後、神奈川県から古殿町に移住し、グリーンウッドワークの伝承者としてクラフトハウスを運営、木工教室を開講しています。

自然のままの木に触れる

井丸さんは古殿町でグリーンウッドワークの木工教室などを開催しています。グリーンウッドワークは主にイギリスや北欧、アメリカなど海外で広まっている木工の一種。電動工具を使わず、手道具(手刀、足踏みろくろなど)で作る木工のスタイルで、乾燥していない生木を加工するのが特徴です。

古殿とのつながり

もともと会社員として働いていた井丸さんは、震災前から奥さまのふるさとである福島県に移住を考えていました。「震災はあつたけど、これもご縁。ここで頑張っていこう」とこの地に移住を決めました。工房として使える廃校を探していたところ、古殿町の町長から「ぜひ、来てください」と言っていたいただきました。その温かい言葉で現在の保育所跡地に決めました。とつても広くて寒いですけど(笑)」

「広葉樹の入手に困っていたときは、地元の人が『うちの山の木を使ってくれ』と声をかけてくれたり、役場の人から町営公園の間伐材の広葉樹を10トンもいただいたり、

炭焼きの人からは軽トラで炭を運んでもらったりと、利害関係では成り立たないこうした交流にとっても感謝しています」

人の手で作り出す楽しさ

「生木を削る感触はなんとも言えません。やわらかいのでそんなに力もいらないうし、初めての人でも面白さを実感できます。機械を使わず、シンプルな道具を使って自分のペースで作れるのが良いんです」



微調整しながら生木を削っていく

週2回開催している木工教室では、面白さに魅せられた皆さんが作品作りに挑戦しています。

「地元の中学生在が体験に来て、黙々と作業に没頭して見事な一輪挿しを完成させました。『自分の手で生の木を削り組み立てる面白さや、作品が完成したときの感動は忘れられません』と言ってくれましたね」

この日は、石川町といわき市か